

# 図書館からのお知らせ

11月2日(土)の商工祭において、午前9時30分から午後4時まで、図書館において本のプレゼント(リサイクル)を開催します。ぜひ、お越しください!

## 今月のおすすめ本 (図書館利用者からのおすすめ本です)

・人は死なない…こんなタイトルの本を東大病院の医師が書いたことに興味をそそられ、読みました。医者として数々の生死に直面し、その中で感じた精神的=霊的な「死」について、彼の体験その他を考察し、彼なりに達した結論を述べています。前半は面白く、後半は示唆に富む内容でありました。

・「泣いちゃいそうだよ」シリーズ…悲しくなったり、うれしくなったり、不安になったり。そんなたくさんさんの「泣いちゃいそう」な思いが詰まったストーリーです。読んでいる自分も「泣いちゃいそう」になります。絵もカワイイしお話もとても面白いです。小学校高学年や中学生におススメします。



# 和紙の里つた

## ◎今後予定されているイベント

### ・第12回 東秩父写友会作品展

10月12日(土)～14日(祝)  
午前9時～午後4時

主催 東秩父写友会  
後援 東秩父村、  
東秩父村教育委員会

東秩父村和紙の里 ☎82-1468



杜の庭駐車の列に夏日射す  
旭 青草

穂芒を分けて顔出す牧の牛  
小林 梢月

出揃ひし稲穂手に取る農夫かな  
宮崎かつ代

刈り終えて払う着衣のえのこづち  
富田 公子

新涼や色紙に嬰の手形とる  
笠原 勝子

早朝の畑仕事や夏果てる  
篠澤 ひこ

シルバーカー手前むらがる赤トンボ  
宮崎 昌子

長き髪束ねて装う宿浴衣  
旭 利子

炎昼や一人声出し畑に出る  
鈴木まさよし

病み続く秋津の国や秋の雷  
鶴川 次作

立秋や雀の声の良く響く  
高橋 きみ

孫娘来るを待ちをり風涼し  
高橋 ウメ

新盆や夫の好みし菓子供ふ  
飯野はつ志

街道のくね垣被ひ葛茂る  
関根 澄江

庭手入れ藪蚊つれ来る夫かな  
土屋 寿子

土用干して又仕舞ふ形見かな  
馬場 芳

雨蛙跳びつきそうな構へかな  
飯野 トヨ

大百足草抜く腕に這ひ上る  
河西カナメ

茄子もぐやへたの鋭き棘刺さる  
野口利江子

山裾に晩夏の風や帰り路  
大竹 祐也

退院や初物無花果頬張りぬ  
高野 利雄

秋海棠月待塔の辺より増ゆ  
山田 美子

決定の喜びに湧くオリンピック  
七年後には我何処やら  
渡邊 京子

あの夢もこの夢も捨てて生きて来た  
しまらぬままの己が人生  
渡邊美枝子

裏山に生ふる細竹切れずして  
ホームセンターに疑似品を買ふ  
坂本 美江

連合いの術後の経過を案じいし  
友の笑顔に回復を見る  
白石 礼子

朝の庭澄みしみどりの深呼吸  
自然事象の穏しを祈りつ  
渡邊阿里子

短歌  
上野登最終列車「山彦」に  
姉の見送りを受けて旅立つ  
野澤 松生

俳句  
命名を「千草」と名付け丸々と  
野澤 松生

川柳  
「お飲みごろ」「良く冷えてま  
すこのプール」  
野澤 松生

## 東秩父俳句会

## みどりの杜俳句会

## 白石短歌会

文  
芸